

西日本新聞

北九州

北九州本社 093(482)2601

2017年

2月3日

(金曜日)

不妊相談(産婦人科)

法人蔵本ウイメンズクリニック

福岡市博多区博多駅前1丁目1-19(1F)博多駅前
筑紫口より徒歩4分 093(482)4400 4400-0000
ホームページ: <http://www.womens-clinic.jp>
ISO 9001:2008 認証取得

天気	朝6時	昼12時	夜18時	あす
福岡	0	0	0	60
北九州	0	0	0	60
筑豊	0	0	0	60
筑後	0	0	0	60
佐賀北	0	0	0	60

家庭との両立付加価値に

ゼムケンサービス (北九州市)

「思ったんです」と松岡勇樹社長(54)は言う。勤務は月曜から木曜の午前0時から午後7時まで。週40時間の労働時間は週休3日導入前と変わらず、給料も同じ。以前は1日2〜3時間残業しており、実質的な労働時間は5分の4に減った。会議

①松岡勇樹社長(左)のアドバイスを受ける坪田唯さん。休日には積極的にセミナーなどに参加している＝大分県国東市
②社内で打ち合わせをする籠田淳子さん(右端)と女性社員。壁には職場と自宅を結ぶテレワークのモニターも設置されている＝北九州市



住宅や商業施設などの設計・施工を手掛けるゼムケンサービス(北九州市)は、ワークシェアリングや自宅で働けるテレワークなどの導入で、仕事と家庭が両立できる環境づくりを進める一方、女性の感性を生かした提案で業績を伸ばしている。

代表取締役の籠田淳子さん(51)が女性の積極採用に踏み出したのは約10年前の社員募集がきっかけ。応募者のうち1級建築士などの資格を持つ女性が2人いたが、子育て中

「午後3時に退社とか、そんなわがままが社会的に許されるのか」と思ったが、自身も子育てに追われており「2人を理解できるのは私しかない」と採用を判断。一つの仕事を分担させることで家庭と

両立できるよう工夫した。現在、社員7人のうち女性

「男性でも女性でも子育てや親の介護に携わった経験は、図面を引く線に表れ、ひいては建築の向上につながる」。これからの仕事と生活の調和がとれた職場づくりを進めるつもりだ。

2017年版九州経済白書

【1面参照】